

# 近代化遺産全国一斉公開2014 in なすからすやま

## バスツアーとコンサートを開催

本市を活性化するために県内4大学と烏山高校等で組織し活動する、市まちづくり研究会(天久保忠且委員長)では、11月16日(日)「近代化遺産全国一斉公開2014 in なすからすやま」を開きました。

昨年からはじまったバスツアーでは、市内外から約40人が参加し、那須塩原市の国指定重要文化財「那須疏水」や平成14年度認定土木学会選奨土木遺産「晩翠橋」、本市の平成19年度認定土木学会選奨土木遺産「境橋」と、平成24年度認定土木学会選奨土木遺産「東京動力機械製造(株)地下工場跡(鳥崎酒造どうくつ酒蔵)」を巡りました。見学地では、同研究会副委員長の足利工業大学准教授の福島二郎さんが建築

物の特徴などを解説しました。

毎年恒例の鳥崎酒造どうくつ酒蔵で開かれた「どうくつコンサート」では、箏奏者の本間貴士さん、尺八奏者の大河内淳矢さん、ドラムの阿原壮平さんによる「現代箏曲コンサート」を開催。その美しい音色に150人の観客は聴き入っていました。また、どうくつ内には、和紙灯り作家の鎌田泰二さんが手がけた、和紙を使った照明が会場を照らし、幻想的な世界を作り出していました。

宇都宮市から参加した神山泰子さんは、「境橋では、初めて生でサケの遡上を見ることができた。いろんな場所を見学し、充実した時間を過ごせた」と話していました。



上:境橋の特徴などの解説を受ける参加者たち/下:幻想的な和紙灯りに包まれた「どうくつコンサート」。

## 江川小4年生が2分の1成人式 感謝の気持ち伝え合う



ディンプルアート体験を楽しむ親子。

江川小学校では、10月23日(木)、「2分の1成人式」が行われ、同校の4年生の児童とその保護者が日頃の感謝の気持ちを伝え合いました。同事業は、成人を迎える半分の年齢である10歳を祝うとともに、親子で今までの思い出を語り合うことで、お互いに感謝の気持ちを忘れないようにと保護者が組織する学年委員会と学校が協力して初めての企画されたもの。学級活動の時間を利用して行われました。

当日は、インストラクターの荒井栄子さんの指導のもと、特別な絵の具で絵を描くディンプルアートに親子で挑戦。慣れない用具に悪戦苦闘しながらも親子で協力し合い、作品を完成させました。その後、日頃の感謝の気持ちなどが書かれた手紙を親子で交換。教室は、温かな雰囲気にも包まれ、親子の絆をさらに深めたようでした。

## 「夢の教室」講師は元プロサッカー選手 子どもたちに大きな夢を...

市教育委員会では、市内全小学校で「夢の教室」を開催しています。この教室は、日本サッカー協会(JFA)の「JFAこころのプロジェクト」の一環として、Jリーグ選手を始め、各種現役選手やO.B.O.Gが講師となり、夢を実現するための努力と仲間の大切さをゲームや体験を通して伝えようというものです。今回は、10月27日(日)に境小学校で行われた様子を紹介します。境小学校には、元プロサッカー選手の佐伯直哉さんが講師として

訪れ、グループでひとつの目標を達成するゲームをしたり、「夢」について児童と話し合ったりしました。話し合いの中で佐伯さんは、「現状に満足せず、夢を持つてほしい。夢をかなえるためには、最後まで諦めず努力することが必要」と自らの失敗談も交えながら、児童に分かりやすく訴えていました。児童等は、普段は聞けない話に目をキラキラと輝かせ聞き入り、自分の夢について改めて考える良い機会になったようです。



ゲームを通して仲間と団結力を強める。

こども館「子育て講演会」

## 音楽で親子の絆深める



リズムに合わせて身体を動かす子どもたち。

こども館と那須烏山市オピニオンリーダー支部会では、11月1日(土)、「子育て講演会」音楽で育む親子の絆」を開き、親子連れ約100人が参加しました。

当日は、リズム表現による音楽教育を推進するリトミック講師の菊地ひとみさん(中央1丁目)を招き、歌や踊りを通して親子で触れ合う交流活動をしました。リトミックとは、身体でリズムを学ぶことで、精神と肉体と

の一致調和や自発性と反射性、精神の集中力と記憶力、創造力などを養成する音楽教育の一つです。

子どもたちは、リズムに合わせてながら上手に踊りを踊ったり、菊地さんのピアノ伴奏のもと歌ったりと終始楽しげな様子でした。また、昼食には、婦人会による豚汁が振る舞われ、手料理に舌つづみを打ちながら、参加者同士の交流を深めました。

## にこここ保育園の参観日 祖父母招待し触れ合う



祖父母と子どもたちがふれあう。

にこここ保育園では、10月30日(日)、初めて「おじいちゃん・お

ばあちゃん参観」を開催し、年長「そら組」園児の祖父や祖母35人が参加しました。

この事業は、日ごろの感謝の気持ち伝えるとともに、園児の成長を感じてもらうために開いたものです。

当日は、園児たちが、この日のために一生懸命に練習してきた歌や体操、手作りの大型紙芝居で「ねずみのすもう」を発表しました。その後、祖父や祖母と一緒に手遊びをしたり、手作りのプレゼントを渡したり、会場には笑顔があふれていました。

歌声が響き合う学校目指して

## 荒川小で歌のフェスティバル



笑顔で合唱する児童たち。

荒川小学校では、10月30日(土)、第3回「歌のフェスティバル」が開かれました。

当日は、大勢の保護者や地域住民が見守るなか、この日のためにクラスごとに練習を重ねてきた歌12曲を披露。児童たちは、一人ひとり大きな口を開け、輝かしい笑顔で発表していました。

また、全校合唱や音楽クラブによる演奏も行われ、体育館には美しいメロデーが響きわたっていました。

## シリーズ 市の文化財 第44回

市指定文化財  
きょうほう ごかえ ねどし ごさいきょ おうらがきえ す  
享保五庚子年御裁許御裏書絵図  
(向田)



江戸時代、那須烏山市域は大名や旗本などの領地が複雑に入り組んでいました。向田地域では向田村が烏山藩、落合村が黒羽藩の支配地として存在し、荒川を挟んで度々土地の境界や水利争いが繰り返されました。特に享保5年(1720)と明和元年(1764)には、それぞれの村役人が江戸の評定所へ出頭し、幕府役人の裁定を受けるといふ大訴訟事件に発展しました。

この絵図は享保5年に行われた訴訟の幕府裁決書で、縦144cm、横260cmの和紙に、表面には争論場所の彩色絵図、裏面に幕府役人が署名した裁定文が記載してあります。当時の土地や水利権を巡る地域紛争の激しさを示す貴重な資料です。

## 秋の叙勲

# 受章おめでとうございます

平成26年秋の叙勲が、11月3日(月・祝)に発令され、旭日章及び瑞宝章合わせて全国で4028人が受章しました。  
本市から受章した2人を紹介します。

## 瑞宝単光章 遠藤タツ子さん(中央一丁目)

中央一丁目の遠藤タツ子さんが、市民生委員・児童委員としての功績に対し、瑞宝単光章を受章しました。

遠藤さんは、昭和58年12月1日

に民生委員・児童委員に委嘱。それ以来、通算30年余、民生事業の向上に努め、現在も活躍されています。また、平成17年10月26日からは、市民生委員児童委員協議会理事に就



遠藤さん。

任し、8年間にわたり社会福祉の向上に尽力。平成19年12月1日からは、市烏山地区民生委員児童委員協議会会長として同会の効率的運営にあたりました。

特に、委員として、経済的、社会的にハンデキャップのある社会的弱者に対し、責任感と情熱をもって社会復帰のための支援をしてきたことや、地域のお年寄りの見守り活動などが認められ、今回の受章へとつながりました。

遠藤さんは、「受章できたのも支えてくれた皆さんのおかげ。感謝の気持ちを胸に今後も社会福祉に貢献したい」と話していました。

## 瑞宝単光章 上條良資さん(小倉)

危険業務従事者叙勲で、小倉の上條良資さんが瑞宝単光章を受章

各地で職務に尽力してきました。本市でも、福岡駐在所に6年間勤

## 市地域雇用創造協議会 新商品「和紙灯かり」を開発

厚生労働省から委託された「実践型地域雇用創造事業」に取り組み、市地域雇用創造協議会(大谷範雄代表)が、「和紙灯かり」を開発しました。



開発に携わった渡邊さん(右)と和久さん(左)。

「和紙灯かり」は、市特産品の烏山和紙を使った、和紙・電球・発砲スチロールの型等による製作キット。組み立ても簡単で、郷土の文化に触れる教材にもなるように開発されています。

また、この商品は、10月16日(木)に開催された、「実践型地域雇用創造事業シンポジウム・成果物コンテスト(厚生労働省主催)」のものづくり部門で1位を獲得しました。

開発した同協議会実践支援員の渡邊貴也さんは、「評価されたことはうれしい。しかし、

商品開発ではなく、商品化による雇用拡大が目的なので、これらが重要」と話していました。

このほか、同協議会実践支援員の和久ひとみさんが市特産品である地酒の酒粕を使ったチーズケーキを開発しており、同コンテストの食品部門で2位を獲得しました。

今後は、商品化に向けて同協議会ホームページ等で周知するほか、来年2月頃に成果報告会を開き、ノウハウやレシビを市内事業者へ公開して地域の雇用拡大に繋がります。

## 秋元さん 老人福祉の向上に貢献し表彰受ける

上境の秋元春美さんが、永きにわたり老人クラブ活動の推進やその育成発展に尽力した功績に対し、公益財団法人全国老人クラブ連合会より表彰状が授与されました。

秋元さんは、クラブに加入後、那須烏山市いきいきクラブ連合会会長や栃木県老人クラブ連合会理事などを務めま

した。周りからの信頼も厚く、会員をまとめクラブ活動を積極的に行い、運営に貢献。会長退任後も烏山支部顧問として会の運営に協力しています。

今年で88歳を迎える秋元さん。「少しでもみなさんの役に立てたかと思うと嬉しい。これからも、老人クラブ活動を活発にしていきたい」と話していました。



「いつまでも元気でいたい」と話す秋元さん。

しました。警察官として39年間にわたり、地域住民の安心・安全の推進に貢献した功績が認められたものです。

上條さんは、地域と密接に付き合える駐在所勤務を希望し、県内



上條さん。

務し、その温かい人柄から地域の人がよく相談に訪れ、また交通安全ゲートボール大会など、地域に根差した活動を実施。その功績が認められ、栃木県知事から「県民の警察官」表彰も受賞しました。

退職後も地域のソフトボールチームの会長など多岐にわたり活躍する上條さん。今回の受章を受けて「家族や地域の皆さんが助けてくれたおかげです。これからも地域のふれあいを大切にしたい」と話していました。

## 第9回市民剣道祭

少年少女剣士の仲間意識と連帯感を高めるため、市体育協会剣道部(黒須清部長)では、11月8日(日)、七合小学校体育館で第9回「市民剣道祭」を開きました。

当日は、関係者や保護者が見守る中、市内の未就学児から一般の選手60人が



白熱した戦いが繰り広げられる。

白熱した戦いを繰り広げました。

結果は、次のとおりです。

- 小学2年生以下の部：優勝：高野裕翔(烏山) 準優勝：小森咲芽(烏山) 第3位：渡辺錬(宏倫)
- 小学3年生の部：優勝：鈴木佳美(宏倫) 準優勝：沖村愛希(宏倫) 第3位：人見心々(宏倫)
- 小学4年生の部：優勝：伴伊純(宏倫) 準優勝：小西美波(宏倫) 第3位：大野聖斗(烏山)
- 小学5年生の部：優勝：小池優太郎(宏倫) 準優勝：小西健太(宏倫) 第3位：井口 旭(烏山)
- 小学6年生の部：優勝：滝口恭弘(宏倫) 準優勝：人見匠真(宏倫) 第3位：伴洋輝(宏倫)
- 中学生女子の部：優勝：三宅美樹(烏中) 準優勝：大鐘咲希(烏中) 第3位：小池日菜美(荒中)
- 中学生男子の部：優勝：鈴木翼(烏中) 準優勝：小松原尚登(烏中) 第3位：人見龍太(荒中)
- 一般の部：優勝：深澤忠 準優勝：松永史郎

## 江川小に牛、荒川小に馬がやって来た!!

### ■児童が乳しぼりに挑戦

酪農組合青年部(黒尾賢二代表)では、10月28日(火)、江川小学校で酪農体験事業「乳しぼり体験」を開き、同校3年生の児童19人が、牛の乳しぼりやバター作りに挑戦しました。

子どもたちは、初めて間近で見る牛に最初は緊張している様子でしたが、酪農組合の

メンバールの指導を受けながら慣れない手つきで一生涯懸命に乳をしぼっていました。

体験を終えた、羽原千織さんは、「牛の乳は、温かく柔らかかった。上手にしぼれたので、また挑戦したい」と笑顔で話していました。

### ■サラブレッドと親しむ

荒川小学校では、11月13日(木)、6年生の親子学習会に合わせ、朝日小学生新聞の出張授業「馬はともだちサラブレッドと親しもう」が開かれ、

児童や保護者など約100人が馬について学びました。

体育館で行われた講座では、JRA日本中央競馬会の松本博幸さんを講師に、馬の種類や馬と人とのかわりなどが話されました。

続いて、場所を校庭に移し、全校生徒が東京都世田谷区馬事公苑から来た馬3頭と触れ合いました。アトラクションホースやミニチュアホースによ



教わりながら乳しぼりに挑戦する児童。

るショー、サラブレッドが走る様子に児童たちの目は釘付け。最後には、3頭に触れる体験もあり、馬を身近に感じる事ができました。

6年の綱川穂乃花さんは、「ショーで、馬が小さな箱に乗ったり、二本足で立ったりと頑張っている姿を見て感動した」と話していました。



小さな箱の上に乗る馬。

●おわびと訂正：11月号12ページの記事で、「荒川小6年の和久真太郎さん」とあるのは「荒川小6年の和久真一郎さん」の誤りです。おわびし訂正します。

# 平成26年度 全国学力・学習状況調査の結果

小学6年生と中学3年生を対象に文部科学省による「全国学力・学習状況調査」が行われました。本市でも全ての小・中学校が参加しました。

学力調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への指導や学習状況の改善等に役立てるために、国語と算数(数学)の2教科で、それぞれ、A問題(主として「知識」を問う問題)とB問題(主として知識を「活用」する力を問う問題)に分けて出題されました。

また、学習状況調査については、子どもたちに生活習慣や授業への取組などを質問紙によつて尋ねる方法で実施されました。本調査により把握できる学力や学習状況は一部分ですので、すべてを測ることはできません。本市の調査結果概要と傾向は次のとおりです。

## 学力調査

本市全体の結果は、小・中学校において各教科とも全国の平均正答率と同程度の結果でした。

また、昨年度の結果と比べると小・中



小学6年生と中学3年生を対象に行われているサタデースクール。

学校ともすべての教科において平均正答率が向上しています。

小学校においては、国語B、算数Aで、中学校においては、国語Aで全国の平均正答率を上回る結果となりました。小・中学校とも算数B、数学Bにおいて、依然として課題の残る結果となりました。

### ■結果からわかること

昨年度と比べ、成績が向上傾向にある一因として、各教科とも無解答率(何をどう書いてよいか分からない)が大きく減少したことがあげられます。

この背景には、教職員の創意工夫による授業力の向上や各学校における学力向上への取組があると考えられます。現在、各学校では、様々な調査結果を詳細に分析するとともに、改善に向けた計画を作成し、学力向上に向けて継続的な取組が実践されています。

## 学習状況調査

質問紙調査のため、「している」及び「どちらかといえばしている」を肯定的な回答として集計し、全国と比較しました。ここでは、小・中学校で共通している顕著な傾向を示す項目を紹介いたします。

※( )内の数字は、全国との差1%を1P、ポイント」としています。また、プラスは「+」、マイナスは「-」とします。

- (1) 学習時間
  - ・小学校…平日(△2.7P)、土日(△0.7P)
  - ・中学校…平日(△1.8P)、土日(±0P)
- (2) 塾に通っている児童生徒の割合(通塾率)
  - ・小学校…49.1%(+1.2P)
  - ・中学校…53.9%(△6.5P)

- (2) 基本的な生活習慣
  - ① テレビ(3時間以上)やゲーム(3時間以上)に時間を費やす児童が多い
    - ・小学校…テレビ(+2.1P)、ゲーム(+3.3P)※携帯電話(+0.1P)
    - ② テレビ(3時間以上)や携帯電話(3時間以上)に時間を費やす生徒が多い
      - ・中学校…テレビ(+4.5P)、携帯(+3.0P)※ゲーム(△0.7P)
  - (3) 自尊心
    - ① 自分には、よいところがあると考えている児童生徒が多い(自尊心・自

- (1) 読書
  - ① 1日の読書時間(1時間以上)や図書館(週に1~3回以上)の利用が多い
    - ・小学校…読書時間(+11.7P)、図書館利用(+7.7P)
    - ・中学校…読書時間(+9.0P)、図書館利用(+6.6P)

### 己有用感

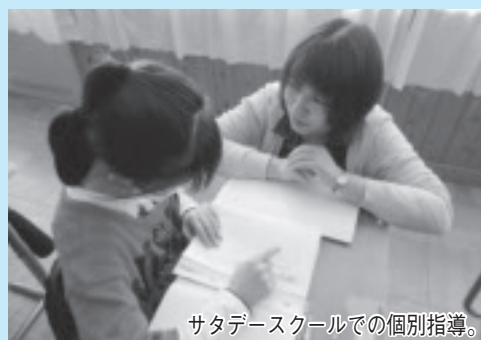
- ・小学校…(+6.4P)
- ・中学校…(+7.3P)

- (4) 地域や社会とのかかわり
  - ① 地域の行事に積極的に参加している児童生徒が多い
    - ・小学校…(+10.3P)
    - ・中学校…(+10.9P)

- (5) 読書
  - ② 新聞を読んでいる児童生徒が多い(週に1~3回程度)
    - ・小学校…(+13.0P)
    - ・中学校…(+17.7P)

今年度は、携帯電話(スマートフォンを含む)での通話やメール、インターネットの利用時間に関する質問が初めて設けられました。本市では、所持率が高くなる中学生の利用時間が全国と比べやや多くなっています。過去の調査でも本市の児童生徒は、テレビやゲームに費やす時間が多く、家庭学習や通塾にかける時間は少ない傾向が見られました。学習時間を確保するという観点からも時間の使い方を指導していく必要があると考えています。

また、学力調査と学習状況調査の相



サタデースクールでの個別指導。

関から、「家庭において学校での出来事について話をしていく児童ほど平均正答率が高い」、「教師との信頼関係がしっかりとできていく生徒ほど平均正答率が高い」、「地域や社会で起こっている出来事に関心がある生徒ほど平均正答率が高い」という結果が見られました。本市の子どもたちを学校・家庭・地域が連携して支えることが学力向上への近道であると考えられます。



市教育委員会では、この調査結果を踏まえ、「確かな学力」の育成がより図られるよう、一層の努力をしていきます。

■学校教育課 ☎0287-88-6222

## 市内の小中高生 被災地訪れ交流深める

被災地、宮城県石巻市で花壇づくりなどを行いました。

当日は、今年のJ・Aまつりで牡蠣直送販売の支援をした石巻市萩浜や牡鹿半島南端の鮎川小仮設住宅を訪問し、被災地の住民と交流。栃木の「新米」と「っこり梨」を手渡すと、家族を震災で亡くしながらも、一人で民宿を再建した阿部泰子さんは、「今でも辛い状況が続いています。何度も訪ねてきてくれることが嬉しい」と涙ぐみながらお礼を述べました。

災害ボランティアチーム龍J・I（小堀恵美子代表が、J・Aなす南の協力のもと、11月16日㈫、市内の小中高生やガールスカウトのメンバーら36人による「那須烏山まごころ親善大使」と東日本大震災の



現地の人たちと交流を深めた那須烏山まごころ親善大使。

その後、一行は大きな被害を受けた門脇地区で、花壇づくりを行い、チューリップやパンジーなどを一つひとつ丁寧に植えました。地域住民から津波の塩害後3年経過して初めて収穫できた焼き芋なども振る舞われ、その喜びをみながら分かち合いながら食べました。烏山中学校3年の笹川夏菜さんは、「現地の人の話を聞くと本当にそんなことがあったのかと耳を疑うようなことばかりだった。自分ができることを探し、これからもボランティア活動をしていきたい」と話していました。また、龍J・I代表の小堀恵美子さんは、「復興は何年も先。被害の風化が進むほど交流活動が大切になる。これからこの活動を継続したい」と話していました。

## 第9回市育樹祭

# 児童が枝払いやマイはし作りを体験



枝払いを教わる児童たち。

市と市緑化推進委員会では、11月13日㈫、江川小学校で「第9回那須烏山市育樹祭」を開き、江川小学校と荒川小学校の5年生の児童や教職員、各種団体、一般市民など約120人が参加しました。

同祭は、子どもや市民に緑や森林に対する理解を深めてもらうようと、烏山地区と南那須地区で1年交替に開かれているものです。

式典では、2014マロニエメイツの安部真理子さんが「とちぎの元気な森づくりのメッセージ」を披露。その後、参加者は校舎東側



メッセージを披露するマロニエメイツ。

の市有林で市林業振興会員の指導を受けながら、間伐したヒノキの枝払い体験をしました。また、ホオノキを使った「マイはし」作りにも挑戦しました。

## 学校給食で 地元産の食材を味わう



七合小学校より。

市内の全小中学校の給食で、地元産の食材を使った献立が登場しました。11月21日㈫には、県内の指定農家が育てている和牛ブランド「とちぎ和牛」を使ったビーフシチュー、12月3日㈫には、市内の農家で採れた「中山かぼちゃ」を使ったスープが出されました。

この献立は、地産地消や食育の推進、地元食材のPRなどが目的。子どもたちは、一口食べるとそのおいしさに満面の笑みを浮かべていました。

なお、今回、提供された和牛は、横山定男さん(三箇)と高野和弘さん(谷浅見)の牧場で育てられたものです。



将来は消防士？(商工会まつりより)。

## まちの話題

◇「広報那須烏山」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報統計担当  
☎0287-83-1112

### 烏山語りの会

## 発表会で語りを披露

烏山語りの会(大喜正昭会長)では、11月8日(日)、山あげ烏草館で第8回発表会を開き、地域住民約150人が語りに耳を傾けました。

当日は、大喜会長が「今日のために会員それぞれが練習をしてきたので、ぜひ楽しんでいってくださーい」とあいさつ。その後、会員たちが練習を重ねてきた8つの民話を

発表したほか、同会に語りを教えてきた宇都宮市在住の仲信代さんによる「石川啄木」の語りも披露されました。

来場者は、会員たちの話しぶりに笑顔を見せたり、真剣な表情で聞き入ったりと語りを楽しんでいくようでした。



日頃の練習の成果を発表会で披露。

## 文化の秋・食欲の秋を満喫 七合公民館祭りと収穫祭

七合公民館(高野則雄館長)では、11月9日(日)、七合会 木村保司会長と合同で、「七合公民館祭り」と「泥んこ田んぼ体験事業収穫祭」を同時開催し、地域住民など約150人が文化と食欲の秋

を満喫しました。

館内では、シルバー大学OBの鈴木初男さん(向田)による手品ショーや、歌う友の会森豊会長による合唱が披露され、子どもからお年寄りまで一緒に参加



豚汁や杵つきもちが振る舞われた収穫祭。



作品展に興味津々。

し、楽しみました。また、地域住民が手がけた水彩画や盆栽などの作品展も開かれ、多くの人が足を運び、数々の作品を眺めていました。

館外の特設テントでは、七合会と大桶地区みどり保全会(木村義二会長)が、10月に収穫した古代米を使った赤飯や豚汁、杵つき餅などが振る舞われ、来場者は手作りの料理に舌つづみを打っていました。

そのほか、大桶ふるさと市場による野菜や興野農産物加工所によるパンなどの加工品の販売も行われ、会場はにぎわいを見せていました。

## 祝100歳 高野カツさん(谷浅見)

谷浅見の高野カツさんが、11月1日

(日)、100歳を迎え、大谷範雄市長から花束や祝詞などが手渡されました。

当日は、遠方から集まった大勢の親戚に囲まれ、温かい雰囲気なか、



手先の器用な高野さん。

祝賀会も行われました。和裁の先生だった高野さんは、手先の器用さを生かし、折り紙などで「てまり」を作るのがとてもうまく、そのすばらしい作品は市役所にも寄贈されています。

現在は、デイサービスに通ったり、一緒に住む、ひ孫と遊んだりするのが何よりの楽しみだとか。カツさんは、「家族に支えられて生活できることが、何よりの幸せです」と100歳を迎えた喜びを話していました。

## 横枕で「やきいも祭り」

そりはたふれあいまつり

# 運動会や芸能大会で地域の交流深める

曲畑自治会などによる実行委員会(田中雄二委員長が、11月16日(日)、「そりはたふれあいまつり」を曲畑公民館で開き、地域の子どもからお年寄りまで約200人が交流を深めました。

28回目となった今年も、恒例の体育館による運動会や芸能大会に加えて、那須烏山消防署の協力のもと、消火器の使い方や煙体験などの防災訓練が行われました。続けて、那須烏山警察署による交通安全教室や振り込め詐欺防止の講話も行われ、地域の安全を再確認しました。

また、お昼には、手作りの「けんちん汁」が振る舞われたほか、「おでん」や「やきそば」などの模擬店がにぎわいました。



子どもからお年寄りまで楽しめる運動会。

なお、農産物販売やバザーなどの売り上げの一部は福祉の貢献のため、社会福祉協議会に寄付されました。



消火器の使い方を教わる。



けんちんそばコーナーに大行列。

## 大木須新そばまつり

## 里山のなかで新そばを堪能

里山大木須を愛する会(堀江一恵会長)では、11月23日(日)、オオムラサキ公園で21回目の「大木須新そばまつり」を開き、市内外から1000人近くの人々が来場しました。

「けんちんそば」のコーナーは、1時間以上待つ行列ができるほど大人気。また、焼きおにぎりや焼き芋、芋串、生そば、そば粉、大木須産の野菜等も販売され多くの人でに

ぎわいました。会場内では、烏山中学校郷土芸能部のお囃子が、盛況な祭りに華を添え、来場者を楽しませました。

茂木町から友人と一緒に来たという渡辺郁子さんは、「茂木のそばもおいしいですが、大木須のそばもおいしいです。長い時間並んだかいがありました」と話していました。

横枕青年団(萩原淳やきいも祭り実行委員長)では、11月22日(土)、横枕伝承センターで「やきいも祭り」を開きました。

当日は、市内外から訪れた約200人の家族連れでにぎわい、準備された300本のやきいもは開始2時間でなくなるほどの人気ぶり。模擬店では、フランクフルトやポップコーンなども販売されました。そのほか、吉本興業栃木県住みます芸人「上原チヨ」のお笑いライブや同青年団の活動発表なども行われました。



家族連れでにぎわう会場。

## 八ヶ代大収穫祭に地域住民集う

八ヶ代自治会(中山茂廣自治会長)では、11月23日(日)、八ヶ代コミュニティ

ティーセンターで、第12回「八ヶ代大収穫祭」を開き、地域住民約250人が参加しました。

地域で交流を深めようと毎年開かれていた同祭。今年も地元産のそば粉を使用した「そば打ち」が行われ、参加者は慣れた手つきで取り組んでいました。昼食には、できあがった「そば」を全員で囲み、会話を楽しみながら食べました。

中山会長は、「地域コミュニティの希薄化が進む中、こういった交流は大切。もっと地域の輪を広げたい」と話していました。



慣れた手つきで「そば打ち」する参加者たち。



## おめでた

赤ちゃん名 (保護者) 住所  
 星 潤 (雅宏・文香) 旭2丁目  
 星 瑛花 (健太郎・有希子) 野上  
 石 井 虹 (健司・要子) 旭2丁目  
 横 山 琴羽 (勇樹・麻由美) 初音  
 小 林 來雅 (雅・佳代子) 旭2丁目  
 羽 石 敬悟 (極斗・京子) 向田  
 佐 藤 日向葵 (直哉・光枝) 旭1丁目  
 菅 俣 柚月 (紀彦・夏子) 野上  
 菅 俣 葉月 (紀彦・夏子) 野上

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

## スポーツの結果

### ●第20回会長杯混合ソフトボール大会

(10月6日(月)～8日(水)、緑地運動公園)  
 ▽優勝…こぶし台 ▽準優勝…荒川南  
 ▽第3位…藤田、三箇 ▽最優秀選手  
 賞…玉造拓磨(こぶし台) ▽優秀選手  
 賞…高田修一(荒川南)

### ●秋季婦人バレーボール大会(10月20日(月)～24日(金)、荒川中学校体育館)

▽優勝…やしきミストレス ▽準優勝…かながクラブ ▽第3位…日野町婦人

### ●平成26年度南那須地区中学校駅伝競争大会(10月24日(金)、高根沢町民広場)

【男子】▽優勝…烏山 ▽準優勝…荒川 A ▽第3位…下江川  
 【女子】▽優勝…烏山 ▽準優勝…荒川

A ▽第3位…荒川B

### ●第9回那須烏山市秋季市民ソフトテニス大会(10月26日(日)、緑地運動公園)

【中学生男子】▽優勝…石川朋樹、金子勇佑(荒川中) ▽準優勝…小室宗太郎、平野辰馬(烏山中) ▽第3位…千葉虎磨、佐藤輝(荒川中)、福田雪矢、阿久津至(烏山中)  
 【中学生女子】▽優勝…川上茉耶、中山彩奈(下江川中) ▽準優勝…平塚麻椰、小松礼奈(烏山中) ▽第3位…渡邊祐里、木下瑠来(荒川中)、村山唯夏、柳田理沙(荒川中)

【一般男子】▽優勝…村田優奈、村田正章 ▽準優勝…久郷啓二、荒井由裕 ▽第3位…仲山信之、大野雅幸  
 【一般女子】▽優勝…矢口文子、塩野目美津子 ▽準優勝…丸山七海、丸山ミツイ ▽第3位…坂主慶子、平野幸子



元気いっぱい!(七小小学校にて)。



楽しみにダンス(横枕やきいも祭りにて)。

### 【シニア男子】▽優勝…今井保二、谷口弘海 ▽準優勝…平野元、姿章江 ▽第3位…糸川秀夫、漆原義孝

【シニア女子】▽優勝…古内晴代、久保田薫子 ▽準優勝…福島トミ子、佐藤万里子 ▽第3位…青木とみ子、大崎美佐子

【平成26年度栃木県民スポーツ大会(10月19日(日)、26日(日)、柳田緑地ソフトボール場・柳田緑地野球場)】

【ソフトボール】▽準優勝…那須烏山市(玉造一男、小池昌也、君島英一、村田正章、花松仁、太田日吉、内田雄二、渡辺猛、佐々木美博、竹井正典、上條宜孝、小堀幸一、増子雅義、高瀬昇)

【第33回関東・甲信越国際剛柔道会空手道選手権大会(11月2日(日)、古河市体育館)】

【一般女子 型】▽第3位…田崎裕乃  
 【中学1年男子 組手】▽優勝…矢代力音

## さかえ介護タクシー

関東運輸局許可事業 関白旅二第1073号

- \*車イスをご利用の方、歩行困難な方ご利用下さい!
- \*入退院・通院・冠婚葬祭の送迎等にご利用下さい!
- \*福祉タクシー券がご利用出来ます!
- \*ストレッチャー・リクライニング車椅子等、無料でお貸しします。予約時にお申し出下さい!



那須烏山市白久410 (三尾谷 栄)  
 ☎ 090-2224-3008

【中学2～3年男子 組手】▽優勝…片岡利光

【平成26年度秋季男女混合市民バレーボール大会(11月4日(火)～7日(金)、荒川中学校体育館・烏山体育館)】

▽優勝…則くんず ▽準優勝…からいず ▽第3位…ポラリス

【第9回那須烏山市民親善交通安全テラウンド・ゴルフ大会(10月24日(金)、大桶運動公園)】

【男子】▽優勝…小山孝三郎 ▽準優勝…藤田武 ▽第3位…斎藤国夫  
 【女子】▽優勝…藤田律子 ▽準優勝…横山美智子 ▽第3位…高久サト子

ご寄付ありがとうございます

■ふるさと応援寄付金

・匿名希望者様から18万円が寄付されました。

■交通安全カーブミラーの寄付

・那須南農業協同組合様から初音橋付近交差点に交通安全カーブミラー1基が寄付されました。

■那須烏山市奨学基金

・秋元久様(東京都小平市)から2万円が寄付されました。

# 新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204  
 烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。  
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

●一般図書●

『脳がシビれる心理学』妹尾 武治  
 『品のある人、品のない人』中谷 彰宏  
 『成功する子の親失敗する子の親』清水 克彦  
 『死ぬならボケずにガンがいい』新見 正則  
 『やっぱり肉料理』横田 渉  
 『遙かな道』津村 節子  
 『三毛猫ホームズの秋』赤川 次郎  
 『親鸞 完結篇上下』五木 寛之  
 『死に支度』瀬戸内 寂聴  
 『掟上今日子の備忘録』西尾 維新

『捨て犬・未来、命の約束』今西 乃子  
 『びんのなかのともだち』垣内 磯子  
 『まいごのおばけしりませんか?』むらい かよ  
 『てぶくろ』いもと ようこ  
 『恐竜ABC』黒川 みつひろ  
 『ドラキュラーだぞ』せな けいこ

●DVD●

『マララ』マララ ユスフザイ  
 『日本にしかない生き物図鑑』今泉 忠明  
 『むし菌バイバイ』大津 一義

『くじけないで』  
 『BECK』  
 『武士の献立』  
 『サンタクロース』  
 『ごちそうさんっていわしたい!』  
 『ダブル・ミッション』  
 『ガッチャマン』  
 『グレートプラネット 地球最大の神秘へ』  
 『日本の昔ばなし ふるさと再生8』  
 『アナと雪の女王』

●児童図書●

## 市の人口

2014.11.1現在  
 ( )対前月比

人口 27,393(-4)

男 13,504 女 13,889

出生 16 死亡 28

転入 66 転出 58

世帯数 9,623

※平成22年国勢調査を基に集計した統計人口です。

## 編集後記

○みなさんは、「紅葉」見に行きましたか?私は、カメラが趣味となつてから、それまで気付かなかつた紅葉スポットもなぜか見つけてしまい、車をとめて「バシャリ」なんてことも…。取材で出歩くことが多かつたので素敵な場所をたくさん発見することができました!「なんだ～遠くに行かなくても近場で十分じゃないか～」と那須烏山市の秋を満喫しました。○そんなことから、今月号の表紙は、「紅葉をバックに撮りたい!」という私のわがままでこんな感じに…。上司からは、「12月号だから紅葉終わってるんだけどな」と笑われながらもチョイスしてしまいました…(笑)○さて、12月はクリスマスに大晦日などイベント盛りだくさん!師走といわれるだけにバタバタと忙しい時期ですよ。『広報那須烏山1月号』は例月に比べて締め切りが1週間早いのです…。無事に発行できるように頑張ります!

○ 若き日の映画になみだ文化の日 鈴木 圭子(金井)	○ 秋暑し塩入れて飲む三時の茶 杉原キミヨ(志鳥)	○ 長生きをせよと新米届きけり 矢口 玄鳥(大金)	○ ムーミンのママのやさしさ文化の日 鈴木美江子(野上)	俳句 齋藤 穂選	○ 宴には欠かせぬ人のかくし芸 小川 昌子(向田)	○ 空元氣時時に見せる老夫婦 須田 孝子(城東)	○ 看護師に両手をあずけ一歩二歩 吉田喜枝子(興野)	○ あの笑顔素直にひかれプロポーズ 滝口 リン(志鳥)	川柳 篠崎 酔月選
-------------------------------	------------------------------	------------------------------	---------------------------------	-------------	------------------------------	-----------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--------------

○ 昨夜は大雨 鈴木 豊(谷浅見)	○ 朝まだき氏神参りの足元に月影映る 須藤 ヤス(志鳥)	○ 裏庭に植えて十年ようやくも生りたる 須藤 ヤス(志鳥)	○ 空見上げ問いかけてみる 川俣登志子(旭)	短歌 福澤 悦子選	○ 母は胸張りて受く 塩野目洋子(初音)	○ ずっしりと重き新米手渡され米寿の 塩野目洋子(初音)	○ 文芸
----------------------	---------------------------------	----------------------------------	---------------------------	--------------	-------------------------	---------------------------------	------

作品募集  
 毎月10日までに、総合政策課広報統計担当  
 〒321-1069 那須烏山市中央一丁目  
 番1号 あて、郵送で作品をご応募ください。



健康や福祉への関心を高め、年齢や障がいを超えた交流の輪を広げようと、第9回「健康福祉まつり」が、11月2日(日)、保健福祉センターで開かれました。

この催しは、「健康はみずから歩く一歩から、心で結ぼう福祉の輪」をスローガンに、社会福祉



なお、バザーや模擬店などの収益は、社会福祉協議会の善意銀行に寄付され、福祉団体の活動などに活用されます。

## 第9回健康福祉まつり 福祉の輪を広げる

協議会を中心とした実行委員会が開いたもの。当日は、市内のボランティア団体等による各種模擬店の出店や福祉体験、作品展示など多彩な企画で多くの来場者を楽しませました。なかでも、健康コーナーでは気軽に健康度がチェックできると大勢の人が足を運びました。

例年、緑化推進のため行われている苗木配布では、ユキヤナギとブルーベリーの苗木800本が大谷範雄市長やマロニエメイツから来場者に手渡されました。



上から…ユキヤナギやブルーベリーの苗木配布／クラブオアシスによる健康体操／健康チェックする来場者／救命訓練でAEDの使い方を学ぶ。



### 街に賑わいを興す会 着物姿で秋を楽しむ

街に賑わいを興す会(小川三雄会長)では、11月23日(日)、「着物で大木須蕎麦祭り」を開き、会員や地域住民など約30人が着物で街を巡りました。

当日は、烏山公民館を出発後、同日に大木須で開かれていた新そばまつり会場へ足を運び昼食をとったり、泉溪寺で紅葉を眺めたりと那須烏山市ならではの秋を楽しみました。また、街中散策をしながらの買い物や市民カフェ35番館でティータイムをするなどゆったりとした1日を過ごしました。

同会では、城下町「那須烏山」が、和服の似合う街というイメージづくりのために今後も様々な事業を企画する予定です。



那須烏山市の秋を堪能(泉溪寺にて)。

有料広告

**地域密着情報紙 アドベツパー**

発行部数 **30,000部** 掲載料金 1枠 8,000円～

那須烏山市・那須町・那須野上町 16,200部 ラック設置 10,000部 送込部 3,800部

**株式会社アド・ワークス** HPをケータイで見える

那須烏山市野上1162(寺澤太鼓店前)

**☎0120-03-8633** アドワークス 烏山 編集部